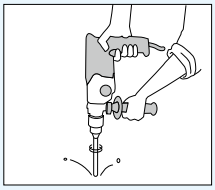
施工方法 BAUHAUS フリーRレールの施工

※プランニングについては287ページをご参照ください。

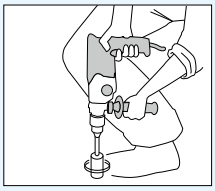
2 支柱の設置

埋め込み式支柱の施工

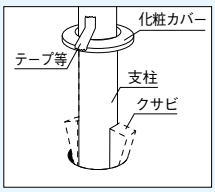
動画で見る



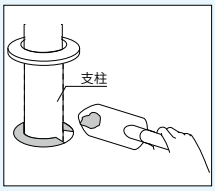
①振動ドリルで下穴(φ6mm)をあけます。



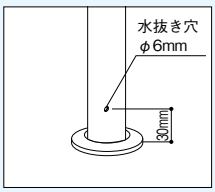
②コアドリル(φ60mm)で深さ220mm以上の穴をあけます。



③支柱に支柱用化粧カバーを通し穴に差し込み、クサビで垂直になるように調整した後、穴にモルタルを流し込みます。

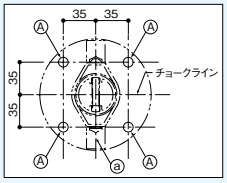


④モルタルが仮硬化したらクサビを取り除いてクサビ跡をモルタルで補修します。

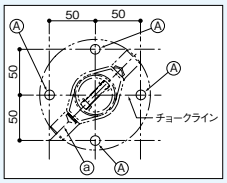


⑤床仕上げ面から30mm程度の高さに水抜き穴φ6mmを開け、支柱用化粧カバーをおとして完了です。

ベースプレート式支柱の施工

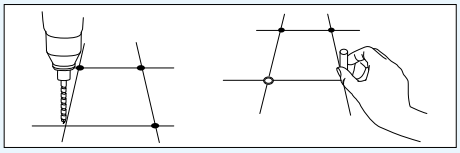


①取扱説明書の参考取付方法より割付けした支柱位置にラインと垂直な線を引きます。
②チョークラインとⓐのラインより、左図に基づきⒶ点を記します。



※チョークラインをタイル目地にあわせる場合

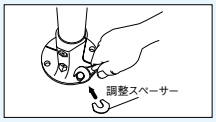
⚠ご注意
●Eベースプレート式支柱は、チョークラインをタイル目地にあわせての取付けはできません。



③マーキングしたA点に振動ドリル(ドリル径10mm)にて、深さ55mmの穴を開け、付属のナイロンアンカーMG10を挿入してください。

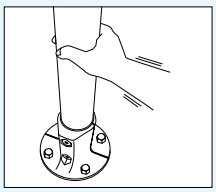
⚠ご注意
●アンカー穴はナイロンアンカー挿入前に充分に掃除してください。

⚠ご注意
●ナイロンアンカーは床面より出ないよう、挿入してください。



④ベースプレートを穴位置に合わせ、平座金及びばね座金を介し、コーチスクリューで固定してください。

水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの間に入れます。

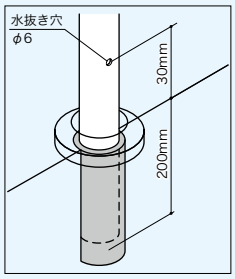


⚠ご注意
●ベースプレートは、目地の部分を手すりと平行とし、六角穴付きボルト側を正面に取付けてください。
調整スペーサーを使用する場合は1箇所につき2枚までです。
対応可能な勾配は1/50までです。

⑤ぐらつきが無いことを確認して完了です。

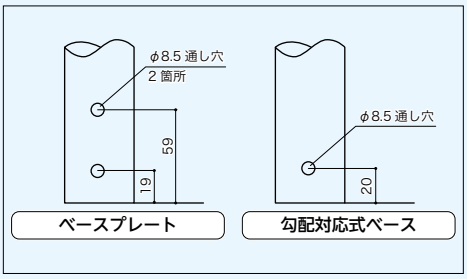
支柱をカットする場合

埋め込み式支柱



支柱には必ず水抜き用の穴が開いている状態にしてください。
支柱に設けられている水抜き用の穴は必ず床上にくるようにしてください。もし施工上支柱の切断等で水抜き穴が無くなった場合は、新たに水抜き穴をあけてください。支柱内の破損の原因になります。

ベースプレート式支柱・勾配対応式支柱



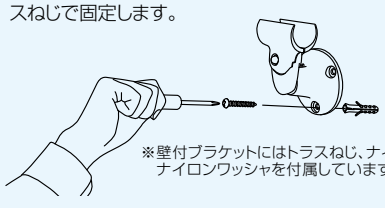
支柱の高さを調整したい時は、支柱を切断してください。
金ノコ等切断工具にて希望の長さに切断してください。ベースを一度取はずした後、下面を切断し、ベース用の穴をあけ直してください。

⚠ご注意
●ボルトを締め直す時は、締付トルク10N·m以上で締め付けてください。

3 ブラケットの設置

壁付ブラケットの施工

①径8mmの振動ドリルにて、深さ45mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーMG8を挿入します。
②ブラケットを穴位置に合わせ、ナイロンワッシャを介し、付属のトラスねじで固定します。



※壁付ブラケットにはトラスねじ、ナイロンアンカーMG8、ナイロンワッシャを付属しています。

お願い 付属のナイロンアンカーMG8はコンクリート、モルタル、ブロック用です。他の材質の場合は、各々専用のアンカーを別途ご用意ください。

自在ソケットの施工

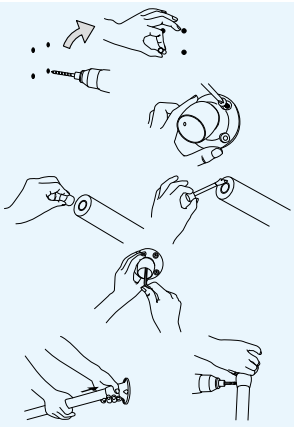
①径8mmの振動ドリルにて、深さ45mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーMG8を挿入します。

②自在ソケットを穴位置にあわせ、ナイロンワッシャを介して、トラスねじにて固定します。

③曲げられる手すり棒の場合は、手すり棒端部芯材に防水パッキンを挿入し、小口部に錆び止めローバル(別売)を塗布します。

④六角穴付きボルトを本締めして自在ソケット首振りを固定します。

⑤手すり棒を挿入し、φ3.3mmの下穴を開け、ねじで締め付けます。



※アプローチEレール等、他シリーズと部材を組み合わせて使用することはできません。